

地域福祉計画・地域福祉活動計画

改定のためのアンケート調査

【 調査ご協力のお願い 】

市民の皆様には、日頃から本市の地域福祉の推進に御理解と御協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、佐賀市では、令和 7 年度に「第 5 期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定するため、現在その準備を進めております。

この計画は、地域住民が地域の中で自立した生活を送ることができるよう、住民と行政とが協働して、住民同士が助け合い・支え合う地域福祉の推進をめざすものです。

計画策定にあたりまして、皆様の御意見をお寄せいただくため、アンケート調査をいたします。

なお、今回の調査では、佐賀市の住民基本台帳に登録されている 18 歳以上の方の中から 5,000 名を無作為(ランダム)で調査対象に選ばせていただきました。

回答していただいた内容に関しては、統計データとしてのみ使用し、上記の目的以外に利用することは一切ありません。

大変お忙しい中恐縮ですが、調査の趣旨を御理解のうえ、御協力をお願いいたします。

令和 6 年 10 月

【 ご回答にあたっての注意 】

1. この調査は、名前を書く必要はありません。
2. この調査の回答は、御本人が回答してください。
御本人の記入が難しい場合は、御家族の方などが代わりに御記入いただいて結構です。
3. 回答は設問ごとに「いずれか 1 つに○」、「あてはまるものすべてに○」など、それぞれ指定されていますので、御注意下さい。
4. 御記入いただいた回答票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて **11月30日(土)** までに郵便ポストにご投函ください。（差出人の名前を書く必要はありません。）
5. 左上の QR コードからオンラインにて回答いただくことも可能です。

【お問い合わせ先】

佐賀市役所 福祉総務課 地域福祉係

電話：0952-40-7250 FAX：0952-40-7393

佐賀市社会福祉協議会 地域支援課 地域支援係

電話：0952-32-6670 FAX：0952-32-6665

あなた自身のことについてお尋ねします

F1 性別を教えてください。(いずれか1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F2 年齢を教えてください。(いずれか1つに○)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20歳代 | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 | |

F3 住んでいる小学校区を教えてください。(いずれか1つに○)

- | | | | | |
|--------|---------|---------|----------|---------|
| 1. 勧興 | 8. 巨勢 | 15. 久保泉 | 22. 春日 | 29. 三瀬 |
| 2. 循誘 | 9. 兵庫 | 16. 蓮池 | 23. 川上 | 30. 南川副 |
| 3. 日新 | 10. 高木瀬 | 17. 新栄 | 24. 松梅 | 31. 西川副 |
| 4. 赤松 | 11. 北川副 | 18. 若楠 | 25. 春日北 | 32. 中川副 |
| 5. 神野 | 12. 本庄 | 19. 開成 | 26. 富士 | 33. 大詫間 |
| 6. 西与賀 | 13. 鍋島 | 20. 諸富北 | 27. 北山 | 34. 東与賀 |
| 7. 嘉瀬 | 14. 金立 | 21. 諸富南 | 28. 北山東部 | 35. 久保田 |

F4 家族構成を教えてください。(いずれか1つに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. ひとり暮らし | 4. 三世帯同居以上(親と子と孫等) |
| 2. 夫婦のみ | 5. 兄弟(姉妹)のみ |
| 3. 二世帯同居(親と子等) | 6. その他() |

F5 現在の地域に住んでどれくらいになりますか。(いずれか1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|----------|
| 1. 1年以上5年未満 | 3. 10年以上20年未満 | 5. 30年以上 |
| 2. 5年以上10年未満 | 4. 20年以上30年未満 | |

F6 現在のお仕事はどのような状況ですか。(いずれか1つに○)

- | | | |
|-----------------|-----------|-------------|
| 1. フルタイム(正規雇用) | 3. パートタイム | 5. 仕事はしていない |
| 2. フルタイム(非正規雇用) | 4. 学生 | |

F7 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(いずれか1つに○)

1. とてもよい	3. あまりよくない
2. まあよい	4. よくない

F8 あなたが外出する頻度はどのくらいですか。(いずれか1つに○)

1. ほぼ毎日	3. 週に1回程度	5. 年に数回
2. 週に2～3日	4. 月に1～2回	

F9 あなたは現在、生活上の何らかの困り事がありますか。(いずれか1つに○)

1. <u>困り事がある</u>	3. 困り事はない
------------------	-----------

F10 で「1. 困り事がある」と回答した方におうかがいします。

F9-1 どのような困り事ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 経済的なこと	4. 学校・仕事	7. 家族・親族関係
2. 子育て	5. 身体・病気	8. その他
3. 介護	6. 近所付き合い	()

「地域」との関わりについてお尋ねします

問1 あなたは、現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。(いずれか1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1. とても愛着がある | 3. どちらともいえない | 5. 全くそう思わない |
| 2. まあ愛着がある | 4. あまりそう思わない | |

問2 あなたはご近所の人とどの程度おつきあいがありますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 非常に親しく付き合っている | <u>3. あいさつをする程度の付き合い</u> |
| 2. 親しく付き合っている | <u>4. ほとんど付き合いはない</u> |

問2で「3. あいさつをする程度の付き合い」「4. ほとんど付き合いはない」と回答した方におうかがいします。

問2-1 理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. あまり面識がないから | 6. もともと地元の人間ではないから |
| 2. 関わる機会や時間がないから | 7. 人との付き合いが苦手だから |
| 3. 家族にまかせているから | 8. 近隣トラブルが心配だから |
| 4. 特に必要を感じないから | 9. 付き合いたいが、どうしたらよいかわからない |
| 5. 面倒だから | 10. その他() |

ここからは全員におうかがいします。

問3 地域での人と人のかかわりについて、あなたの考えに近いものをお選びください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 困り事を相談し合える関係を築きたい
2. 隣近所の人とはつきあいを大切にしたい
3. 地域を良くする活動をみんなで協力し合っていきたい
4. あいさつをする程度で地域の人や隣近所の人とはかかわりを持ちたくない
5. 他人の協力は期待していない(自分のことは自分です)
6. 興味がない
7. その他 ()

問4 あなたやご家族が、高齢や病気・障がい、もしくは子育て等で日常生活上の手助けが必要になったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 安否確認等の定期的な声かけ・見守り | 7. 庭木の剪定・草刈りの手伝い |
| 2. 日常的な話し相手・困ったときの相談相手 | 8. 家具や電化製品の修理・電球交換の手伝い |
| 3. 災害時の手助け | 9. 介護を必要とする人や子どもの短時間の預かり |
| 4. ごみ出しの手伝い | 10. 特にない |
| 5. 買い物の手伝い | 11. その他 () |
| 6. 通院などの外出の手伝い | |

問5 あなたの身近なところで、高齢や病気・障がい、もしくは子育て等で困っている家庭があった場合、どのような支援ができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 安否確認等の定期的な声かけ・見守り | 7. 庭木の剪定・草刈りの手伝い |
| 2. 日常的な話し相手・困ったときの相談相手 | 8. 家具や電化製品の修理・電球交換の手伝い |
| 3. 災害時の手助け | 9. 介護を必要とする人や子どもの短時間の預かり |
| 4. ごみ出しの手伝い | 10. 特にない |
| 5. 買い物の手伝い | 11. その他 () |
| 6. 通院などの外出の手伝い | |

問9 認知症や知的障がい、精神障がいのある方など、判断能力が不十分な方が、地域で安心して暮らしていくために、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------------------|----------------------|-----------------------|
| 1. 必要な福祉サービスの利用に関する情報提供や相談 | 4. 財産(動産・不動産)の管理 | 7. 入院・入所・入居等の際の身分保障 |
| 2. 福祉サービスの利用等に関する手続き | 5. 成年後見制度に関する情報提供や相談 | 8. 地域住民の障がい等に対する理解や受容 |
| 3. 生活に必要な支払いや預貯金の払い出し | 6. 成年後見人の申請手続き | |

「地域福祉」とは・・・

少子高齢化や家族形態の変化にともない、一人ひとりが抱える生活課題も多様化しています。これらに対応するには、個人の努力や行政による福祉サービスだけでは十分でなく、地域に住む私たち自身が、身近にあるさまざまな課題(高齢者のごみ出しや買い物等の外出支援、子どもの登下校の見守り等)に関心を持ち、地域全体で生活課題の解決に取り組むことが求められています。

私たち一人ひとりが、地域社会の一員であることを認識し、地域のつながりを大切にしながら、お互いの生活課題の解決に向けてできることを持ち寄ること、それが「地域福祉」の考え方です。

問10 あなたは地域福祉に関する課題に対して、住民同士の助け合いや支えあいの必要性についてどう思いますか。(いずれか1つに○)

- | | | |
|---------------|----------------|---------|
| 1. とても必要だと思う | 3. どちらともいえない | 5. 必要ない |
| 2. ある程度必要だと思う | 4. あまり必要だと思わない | |

問11 住民が安心して暮らせるように、あなたができると思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|----------------|------------|
| 1. 見守りや声かけ | 4. ボランティア活動 | 7. 寄付や募金 |
| 2. 美化活動 | 5. 地域行事への参加や協力 | 8. わからない |
| 3. 防犯・防災に関する活動 | 6. 話し相手や相談相手 | 9. その他 () |

問12 あなたの住んでいる地域には、福祉に関わるどのような課題・問題があると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 住民同士のつながり(つながりが薄いなど) | 7. 孤立や孤独、ひきこもりに関すること |
| 2. 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に関すること | 8. 大雨などの自然災害に対する地域の防災に関すること |
| 3. 介護が必要な方に関すること | 9. 子どもを狙った犯罪など、地域の防犯に関すること |
| 4. 子どもや子育て家庭に関すること | 10. 特にない |
| 5. ひとり親家庭に関すること | 11. わからない |
| 6. 障がい者(児)に関すること | 12. その他 () |

地域活動や福祉に関するボランティアについてお尋ねします

問 13 あなたは、自治会や子ども会、老人クラブなどの地域活動やボランティアに参加していますか。
(いずれか1つに○)

- 1. 現在参加している
- 2. 現在は参加していないが、過去に参加したことがある
- 3. 参加したことがない

問 13 で「1. 現在参加している」「2. 現在参加していないが、過去に参加したことがある」と回答した方
におうかがいします。

問 13-1 どんな活動をしていますか(していましたか)。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 自治会の活動
- 2. まちづくり協議会の活動
- 3. 女性の会等の活動
- 4. 子ども会の活動
- 5. ボランティア団体の活動
- 6. 消防団の活動
- 7. PTAの活動
- 8. 老人クラブ、高齢者ふれあいサロン等の活動
- 9. 校区(地区)社会福祉協議会
- 10. その他()

問 13 で「3. 参加したことがない」と回答した方におうかがいします。

問 13-2 理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 興味のある行事や地域活動がない
- 2. 人づきあいが苦手
- 3. どのような行事や地域活動があるかわからない
- 4. 時間が合わない、時間的な余裕がない
- 5. 経済的な余裕がなく、参加ができない
- 6. 参加したいが情報が得られない
- 7. 知り合いがいらないため参加しにくい
- 8. 特に関心はない
- 9. その他()

ここからは全員におうかがいします。

問 14 あなたは自治会や子ども会、老人クラブなどの地域活動やボランティア活動などの地域活動や行事に参加したいと思いませんか。(いずれか1つに○)

- 1. 参加したい
- 2. 機会があれば参加したい
- 3. 参加したいと思わない
- 4. わからない

問 15 今後、地域における支え合い、助け合い活動を促進するために必要なことは何だと思えますか？
(あてはまるもの3つまでに○)

1. 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする
2. 地域でボランティアなどの活動拠点となる場所を整備する
3. 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う
4. リーダーや福祉活動に携わる人を養成する
5. 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る
6. 困っている人と助けることのできる人をつなぐ人材を育成する
7. 困っている人や、助け合いの場などの情報を得やすくする
8. 介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う
9. 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する
10. 特にない
11. その他 ()

「福祉サービス」に関することについてお尋ねします

「福祉サービス」とは・・・

高齢者や障がい者(児)、子どもなど様々な人を対象として、行政、事業者、NPO などが有償・無償でそれぞれの困り事を支援し、解決に結びつけていくサービスのこと。

問 16 あなたは、「福祉サービス」に関する情報をどの程度入手できていますか。(いずれか1つに○)

1. かなり入手できている
2. 入手できている
3. あまり入手できていない
4. わからない
5. その他 ()

問 17 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。

(あてはまるもの3つまでに○)

1. 市役所の窓口
2. 社会福祉協議会の窓口
3. 保健所
4. 民生委員・児童委員
5. ボランティア・NPO
6. ケアマネジャーやホームヘルパー等
7. 家族や親戚
8. 近所の人
9. 学校や会社
10. 自治会の回覧板
11. 市の広報誌
12. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
13. スマートフォンを利用した SNS など
14. パソコンを利用したホームページなど
15. 地域包括支援センター(おたっしゃ本舗)
16. 情報を得る必要がない
17. その他 ()

問 18 あなた自身やご家族が、生活上の困りごとを抱えたときや「福祉サービス」の利用が必要となったとき、どこ(誰)に相談しますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 家族や親族 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 2. 友人や知人 | 9. 社会福祉法人などの民間福祉団体 |
| 3. 同じ悩みや問題を持つ仲間 | 10. ボランティア団体やNPO 法人 |
| 4. 自治会や近所の住民 | 11. 地元の福祉関連事業者 |
| 5. 市役所等の公的機関 | 12. 相談するところがない |
| 6. 地域包括支援センター(おたっしゅ本舗) | 13. 相談はしない |
| 7. 市や地区の社会福祉協議会 | 14. その他 () |

問 19 福祉サービス利用者が、自分に最適な福祉サービスを選び安心して利用するために、行政はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 福祉サービスに関する情報提供を充実する |
| 2. 福祉サービスに関する相談対応を充実する |
| 3. 福祉サービス事業者への苦情やトラブル解決の支援体制を整える |
| 4. 福祉サービスの内容を評価するしくみを整える |
| 5. 相談窓口職員の知識、接遇の向上 |
| 6. 行政や福祉サービス事業者の情報公開をすすめる |
| 7. 住民が福祉に関する法律や制度などを学習できる機会を増やす |
| 8. 福祉サービス利用者の権利を守るしくみを整える |
| 9. 特にない |
| 10. その他 () |

地域福祉に関わる機関や団体、制度についてお尋ねします

佐賀市には、地域福祉を推進するために、生活上の困り事に対する相談支援やボランティア活動の組織化、支援などを行う「佐賀市社会福祉協議会」を始めとして複数の団体や制度があります。

問 20 次の機関や団体、制度、取り組みなどご存知ですか。(知っているものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 1. 佐賀市社会福祉協議会 | 5. 福祉協力員制度※近所の方を見守る制度 |
| 2. 地域包括支援センター(おたっしゃ本舗) | 6. 自治公民館等で実施されているコミュニティカフェ※名称は地区で異なる |
| 3. 校区(地区)社会福祉協議会 | 7. 佐賀市社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー(CSW) |
| 4. 市役所 1 階にある福祉まるごと相談窓口 | 8. 佐賀市社会福祉協議会の生活支援コーディネーター(SC) |

問 21 問 20 の機関や団体、制度などで直接かかわった(相談した、参加したなど)ことがある場合は、その番号をすべて回答票に記入してください。

あなたの地域には民生委員・児童委員がいます。民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりのために、様々な福祉活動を行っています。

問 22 あなたは民生委員・児童委員及びその活動内容についてご存知ですか。(いずれか1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. <u>民生委員・児童委員及び活動内容も知っている</u> |
| 2. <u>民生委員・児童委員は知っているが活動内容はわからない</u> |
| 3. 知らない |

問 22 で「1. 民生委員・児童委員及び活動内容も知っている」「2. 民生委員・児童委員は知っているが活動内容はわからない」と回答した方におうかがいします。

問 22-1 あなたはお住まいの地区の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。(いずれか1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 23 民生委員・児童委員の活動として、今後、充実してほしいことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------|
| 1. 日常生活の悩みや心配ごとの相談 | 4. 特にない |
| 2. 福祉に関する情報提供 | 5. その他 |
| 3. 支援が必要な方への訪問活動 | () |

災害時の避難についてお尋ねします

問 24 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたは適切に避難できると思いますか。

(いずれか1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. できると思う | 3. わからない |
| 2. できないと思う | 4. その他 () |

問 25 地震や台風などの災害発生時に、不安に思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 避難場所がどこかわからない |
| 2. 避難場所(近くの小中学校など)まで、自分一人では行けない |
| 3. 災害時の緊急の連絡方法や連絡先がわからない |
| 4. 災害時の情報入手や連絡の手段がない |
| 5. 特にない |
| 6. その他 () |

問 26 地震や台風などの災害発生前の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 災害対策の学習会の開催 | 6. 地域の避難行動要支援者の把握 |
| 2. 日ごろからの隣近所との挨拶、声かけや付き合い | 7. 避難行動要支援者に対する情報伝達体制づくり |
| 3. 地域での避難訓練の実施 | 8. 災害ボランティアの育成 |
| 4. 危険箇所の把握 | 9. その他 |
| 5. 地域における支援団体の組織づくり | () |

「避難行動要支援者支援制度」とは…

災害が発生した際、ひとりで避難することが難しい人(避難行動要支援者といいます。)を民生委員、自治会、自主防災組織等(避難支援等関係者といいます。)や隣近所で避難の手伝いを行う人(避難支援員といいます。)など、地域の関係者で避難支援などを行うことを避難行動要支援者支援制度といいます。

問 27 佐賀市では上記の制度に取り組んでいます。あなたはこの取り組みを知っていましたか。

(いずれか1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 28 あなたは近所の避難行動要支援者の避難支援員になることができますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. できる | 3. 複数の人と協力してならできる |
| 2. その人との付き合い具合によってはできる | 4. できない (理由:) |

生活困窮者の自立支援についてお尋ねします

働きたくても仕事がない、家族の介護のために仕事ができない、再就職に失敗して雇用保険が切れた、あるいは、社会に出るのが怖くなった……。さまざまな困難の中で生活に困窮している人に包括的な支援を行う「生活困窮者自立支援制度」が平成 27 年 4 月から始まりました。

地域の役割として、生活困窮者の様々な課題を個別で解決するのではなく、地域社会全体の課題として解決していく仕組みを創り出していくことで、課題発生の予防を図ることが求められています。

問 29 あなたは生活困窮者の問題や支援について、どのように思いますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|--|----------------------|
| 1. <u>自身や身近な人に問題を抱える人がいるため、必要な制度である</u> | 4. 生活困窮者の問題や制度に関心がない |
| 2. <u>自身及び身近な人に問題を抱える人はいないが、必要な制度である</u> | 5. わからない |
| 3. この制度は必要ない | 6. その他() |

問 29 で「1. 自身や身近な人に問題を抱える人がいるため、必要な制度である」「2. 自身及び身近な人に問題を抱える人はいないが、必要な制度である」と回答した方におうかがいします。

問 29-1 生活困窮者の自立支援に向けて、市が行うべき支援として望ましいと思うのはどのような取り組みですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. ハローワーク等と連携して仕事を斡旋する | 4. 企業に就労を受け入れるよう働きかける |
| 2. 職業訓練などの就業支援 | 5. 生活再建に向けた貸付を行う |
| 3. 相談支援窓口の充実 | 6. その他() |

問 30 地域で生活困窮者を支援する場合、あなたならどのような支援が出来ると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1. 自治会長や民生委員などの地域の代表や支援者に相談する | 4. 地域で支援はできない |
| 2. 行政等の専門機関に相談する | 5. その他() |
| 3. 本人または家族等に相談窓口に行くよう促す | |

外国籍の方との関わりについてお尋ねします

問 31 近隣の外国籍の方との付き合いはありますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. <u>親しく付き合っている</u> | 3. ほとんどない |
| 2. <u>あいさつをする程度の付き合いはある</u> | 4. 全くない |
| | 5. 周りに外国籍の方がいない |

問 31 で「1. 親しく付き合っている」「2. あいさつをする程度の付き合いはある」と回答した方におうかがいします。

問 31-1 どのようなところで付き合いがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 隣近所や地域の中で | 4. 趣味の活動で |
| 2. 仕事や職場で | 5. ボランティア活動で |
| 3. 子どもを通じた親同士の交流で | 6. その他 () |

問 32 外国籍の方との交流で困ると思われるものはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 言葉の違い | 4. 法律の違い |
| 2. 文化や習慣の違い | 5. 特に問題となることはない |
| 3. 宗教の違い | 6. その他 () |

問 33 外国籍の方との相互理解を深めるために地域で必要と思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 日常的にあいさつをする | 4. 文化や生活習慣の違いについて知る |
| 2. 差別意識を持たないようにする | 5. 地域の交流や活動に参加を呼びかける |
| 3. 生活する上でのルール等を
外国籍の方に知ってもらう | 6. その他 () |

「再犯防止」に関することについてお尋ねします

「再犯防止」とは…

生活する上で様々な課題を抱えている犯罪をした者等(犯罪をした者又は非行少年若しくは非行少年であった者)に対し、福祉的支援をはじめとした再犯の防止等に関する様々な施策を行うことで更生や再犯防止に繋げ、もって安全で安心して暮らせる社会の実現を目指すこと。

問 34 あなたは、全国における刑法犯認知件数が平成 14 年(2002 年)をピークに減少傾向であり、佐賀市においても、市町村合併をした平成 19 年(2007 年)と比較すると、令和 5 年(2023 年)には合併当時の3割程度まで大きく減少していることを知っていますか。

【参考】佐賀市における刑法犯認知件数

平成 19 年(2007 年):4,186 件 令和 5 年(2023 年):1,237 件

(いずれか1つに○)

1. 知っている

2. 知らない

問 35 あなたは、刑法犯認知件数が減少している一方で、検挙者に占める再犯者の割合(再犯者率)が 50%近くで高止まりしていることを知っていますか。(いずれか1つに○)

1. 知っている

2. 知らない

問 36 あなたは、再犯防止に関する広報・啓発活動の取組である「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか。(いずれか1つに○)

1. 両方とも聞いたことがある

2. 「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある

3. 「再犯防止啓発月間」のみ聞いたことがある

4. 両方とも聞いたことがない

問 37 あなたは、再犯防止に関して、広く市民の理解や関心を深めるため、何をすべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 芸能人やキャラクターが出演するイベントを充実する

2. 誰もが参加できる講演会などのシンポジウムを充実する

3. テレビや新聞などでの広報を充実する

4. ホームページや SNS 等のインターネットでの情報発信を充実する

5. パンフレットやポスターを増やす

6. 再犯防止に協力する民間協力者に対する表彰の機会を増やす

7. 学校の授業で取り上げるよう働きかける

- 8. 地域や社会教育の場で話し合う機会をもつよう働きかける
- 9. 職場の研修などで取り上げるよう働きかける
- 10. わからない
- 11. その他 ()

問 38 あなたは、再犯防止に協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。
(知っているものすべてに○)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 保護司 | 7. 篤志面接委員 |
| 2. 更生保護女性会 | 8. 少年補導員 |
| 3. 協力雇用主 | 9. 少年指導委員 |
| 4. BBS 会 | 10. 少年警察協助手員 |
| 5. 更生保護施設 | 11. いずれも知らない |
| 6. 教誨師 | 12. わからない |

問 39 あなたは、民間協力者を増やすためには、何をすべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 民間協力者の活動を紹介する広報を充実する
- 2. 民間協力者の団体と協力して、1日体験など誰もが気軽に参加できるような機会を増やす
- 3. 民間協力者に対する表彰の機会を増やす
- 4. 民間協力者に対する研修を充実する
- 5. 民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援を充実する
- 6. わからない
- 7. その他 ()

問 40 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 思う | 4. 思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば思わない | |

問 40 で「思う」、「どちらかといえば思う」を選択した方にお聞きます。

問 40-1 どのような協力をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 犯罪をした者に直接会って継続的に助言や援助をする
2. 協力雇用主（犯罪前歴を承知の上で雇用に協力する事業主）として、犯罪をした者を雇用する
3. 更生保護施設（出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設）にお金や品物を寄付する
4. 再犯防止に関するボランティア活動に参加する
5. 広報・啓発活動に参加する
6. わからない
7. その他（)

問 40 で「どちらかといえば思わない」、「思わない」を選択した方にお聞きます。

問 40-2 協力したいと思わない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分や家族の身に何か起きないか不安だから
2. 犯罪をした者と、かかわりを持ちたくないから
3. 犯罪をした者と、どのように接すればいいかわからないから
4. 自分自身にメリットがないから
5. 具体的なイメージがわからないから
6. 時間的余裕がないから
7. 興味がないから
8. 犯罪をした者への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから
9. 犯罪をした者に支援などするべきではないから
10. わからない
11. その他（)

問 41 あなたは、再犯防止のためには、具体的にどのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 刑事司法関係機関（刑務所、少年院、保護観察所等）による一人ひとりの問題性に
応じた、きめ細かな指導や支援を充実させる
2. 仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築かせる
3. 犯罪をした高齢者などに対して、福祉制度の利用を促進する
4. 被害者の置かれた状況や心情を理解させる
5. 犯罪を地域の問題として捉え、地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をする
6. わからない
7. その他（)

問 42 仕事に就いていない人の再犯率は、仕事に就いている人の再犯率に比べて約3倍となっ
ています。そこで犯罪をした者が仕事に就くために、何をすべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 犯罪をした者に対して、仕事に就く意欲を向上させるための働きかけを強化する
2. 刑務所や少年院の中で、施設から出た後に役立つ技能や資格を取得させるための教
育を充実する
3. 広く市民に周知するなどして、協力雇用主を増やす
4. 協力雇用主の活動を支援する
5. 人手不足の産業分野の関連団体に対して、犯罪をした者の雇用を推進するよう働き
かける
6. 犯罪をした者を国または地方公共団体の機関で雇用する
7. 犯罪をすると、一定期間経過するまで、就くことのできない仕事や取得に制限があ
る資格（例えば、警備員や介護福祉士等）の要件を緩和する
8. 刑事司法関係機関とハローワークなどの職業紹介事業者が連携した支援を強化する
9. わからない
10. その他（)

問 43 刑務所を出ても住む場所がない人は、住む場所がある人に比べて、再犯に至るまでの期間が短くなっています。そこで、犯罪をした者が住む場所を見つけるために、何をすべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親族が受け入れるように働きかけを強化する
2. 更生保護施設などの一時的に宿泊できる施設を増やす
3. 公営住宅に入りやすくなるよう、要件緩和などを行う
4. 保証人がおらず、賃貸住宅を借りることが難しい人に対する身元保証の仕組みを充実させる
5. 住み込みで仕事ができる協力雇用主を増やす
6. わからない
7. その他 ()

問 44 65歳以上の高齢者が刑務所出所後2年以内に再び刑務所に入所する割合は、全世代の中で最も高くなっています。そこで、高齢者の再犯を防ぐために、何をすべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親族が受け入れるよう、働きかけを強化する
2. 刑務所で認知症予防や運動機能向上に取り組ませる
3. 刑事司法関係機関に配置する福祉の専門家を増やす
4. 刑事司法関係機関の職員に対して、福祉分野などの研修を充実する
5. 刑事司法関係機関で、保健医療・福祉サービスやその手続きについて、積極的に情報提供を行う
6. 犯罪をした高齢者であっても受け入れる老人ホームなどを増やす
7. 犯罪をした高齢者であっても参加できる地域の居場所を作るよう働きかける
8. わからない
9. その他 ()

問 45 覚せい剤取締法違反により受刑した人が刑務所出所後2年以内に再び刑務所に入所する割合は、他の犯罪と比べて高い傾向にあります。そこで、薬物依存者の再犯を防ぐために、何をすべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 刑事司法関係機関で薬物依存からの回復のための専門的なプログラムを実施する
2. 地元の薬物仲間などとの関係を切るため、別の地域で生活できるよう支援する
3. 薬物依存症からの回復を支援する民間団体の活動を支援する
4. 薬物依存症の治療を専門とする医療機関を増やす
5. 刑務所に収容する代わりに、薬物依存症の治療を優先した仕組みを整備する
8. わからない
9. その他 ()

問 46 犯罪をした少年少女の再犯防止のために、何をすべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 社会の一員としての意識や規範意識を高めるため、ボランティア活動に参加させる
2. 少年院や保護観察所で被害者の置かれた状況や心情が理解できるよう教育を充実させる
3. 少年院などで高等学校卒業程度認定試験や進学のための教育を充実する
4. 犯罪をした少年少女の保護者に対して、育て方や親子関係に関する相談・助言を強化する
5. 学校における非行防止や薬物乱用防止に関する教育を充実する
6. 障害を有している、犯罪をした少年少女に対して、その障がいに応じた福祉・医療などの専門的な支援を関係機関が連携し、実施する
7. 刑事司法関係機関による指導監査の期間を長くする
8. わからない
9. その他 ()

問 47 「再犯防止のためには、犯罪をした者を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる『誰一人取り残さない』社会の実現が大切である」という意見について、どう思いますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. そう思う | 4. そう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえばそう思わない | |

今後の地域福祉のあり方についてお尋ねします

ここからは全員におうかがいします。

問 48 佐賀市では、平成28年度に第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定して、地域福祉の推進及び向上を図ってきましたが、策定時からこれまでの間、次に掲げる項目について、どの程度向上したと感じますか。(1から5で該当する番号に○をお願いします。)

項 目	大きく 向上した	少し向 上した	変わら ない	少し低 下した	大きく 低下した
気軽に集える新たな居場所づくり (コミュニティカフェ等)の推進	1	2	3	4	5
ボランティア活動や地域行事に参加し やすい環境の整備	1	2	3	4	5
福祉(取り組み・課題)や人権に関す る学びの場や機会の充実	1	2	3	4	5
複合的な課題(引きこもり、生活困窮 等)へ適切に対応できる体制の整備	1	2	3	4	5
地域の人材や資源を活用した組織的な 地域福祉活動の推進	1	2	3	4	5
地域の見守り(福祉協力員)など身近 な助け合い体制の強化	1	2	3	4	5
災害時の避難体制の強化	1	2	3	4	5
虐待や行方不明などの早期発見や防止 体制の強化	1	2	3	4	5
福祉情報やサービスの分かりやすい情 報発信の向上	1	2	3	4	5
地域での情報交換や共有化の推進	1	2	3	4	5
専門性・利便性の高い総合相談体制の 構築による相談機能の強化	1	2	3	4	5
気軽に地域で相談できる機会の充実	1	2	3	4	5

問 49 住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、住民としてあなたができることはどんなことがあるとお考えですか。(いずれか1つに○)

1. 地域活動に積極的に参加する
2. 地域活動にできる範囲で参加する
3. できるだけ地域の出来事に関心を持つ
4. 子どもの学校行事など、家族が関わる範囲内の活動には参加する
5. まずは家庭内の問題を解決する(コミュニケーション不足など)
6. 近隣の方とあいさつをする
7. その他()

問 50 今後、佐賀市が取り組むべき施策として、次のうちどれを優先して充実すべきだと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 地域活動やNPO・ボランティアなどへの参加促進や活動支援
2. 高齢や障がいによって要介護になっても在宅生活が続けられるサービスの充実
3. 保健や福祉に関する情報提供や制度案内の充実
4. 保健増進・維持のための相談や訪問指導などサービスの充実
5. 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実
6. サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取り組み
7. 身近なところでの相談窓口の充実
8. 高齢者、障がいのある人の入所施設の整備
9. 保育サービスや児童福祉施設の充実
10. 義務教育時期からの福祉教育の推進
11. ユニバーサルデザインの推進
※年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などにかかわらず、すべての人が利用しやすい制度や仕組み、設計を推進すること。
12. 低所得者の自立支援
13. 成年後見制度(権利擁護)の推進
14. 特に優先して充実すべき施策はない
15. わからない
16. その他()

